

中野産業株式会社の体質改善方針の一つとして、損益分岐点位置率を現状より10%引き下げることが決定しました。

固定費予算が基準年度の15%増、予測付加価値率が40%の場合の売上高目標はいくらになりますか。中野社の基準年度の売上高4,800万円、付加価値率は40%、売上利益率は4%です。

(アルゴリズム)

$$s(\text{売上高倍率}) = \frac{m}{m'} \times \frac{f}{\alpha'} = \frac{\acute{a}}{\acute{\alpha}}$$

入力

損益分岐点位置率倍率	0.9	(方針)
現付加価値率	0.4	
目標付加価値率	0.4	
固定費倍率	1.15	

出力

売上高倍率	1.278
-------	-------

(検算)

(単位万円)

	基準年度	計画年度	
売上高	4,800	6,134	$4800 \times 1.278 = 6,134.4$
比例費	2,800	3,680.64	$6,134.4 \times 0.6 = 3,680.64$
付加価値	1,920	2,453.70	$6,134.4 \times 0.4 = 2,453.7$
固定費	1,728	1,987.20	$1728 \times 1.15 = 1,987.2$
利益	192	486.5	
損益分岐点売上高	4,320	4,968	$6,134.4 \times 0.81 = 4,968$
同位置率	0.9	0.81	$0.324(\text{固定比率}) \div 0.4(\text{付加価値率}) = 0.81$